

## 正誤表

1. 9頁, 表 3.1 : 赤で囲んだ部分を以下のように訂正.

表 3.1 結晶格子と7つの晶系

結晶系	格子定数		空間格子	晶族 (結晶点群)	
	条件	命名の約束			ラウエ群
三斜		$c < a < b$ $\alpha \geq 90^\circ, \beta \geq 90^\circ$	$P$	1	$\bar{1}$
単斜	$\alpha = \gamma = 90^\circ$ ( $\alpha = \beta = 90^\circ$ )*	$c < a, \beta \geq 90^\circ$	$P, C^{**}$	$m,$ 2	$2/m$
直方 (斜方)***	$\alpha = \beta = \gamma = 90^\circ$	$c < a < b$	$P, C^{**}$ $F, I$	$mm2, 222$	$mmm$
正方	$a = b$ $\alpha = \beta = \gamma = 90^\circ$		$P, I$	$\bar{4},$ 4 $\bar{4}2m, 4mm, 422$	$4/m$ $4/mmm$
三方****	$a = b = c$ $\alpha = \beta = \gamma$		$R(P)$	3 $3m,$ 32	$\bar{3}$ $\bar{3}m$
	$a = b$ $\alpha = \beta = 90^\circ$ $\gamma = 120^\circ$		$P$		追加
六方	$a = b$ $\alpha = \beta = 90^\circ$ $\gamma = 120^\circ$		$P$	$\bar{6},$ 6 $\bar{6}m2, 6mm, 622$	$6/m$ $6/mmm$
等軸 (立方)	$a = b = c$ $\alpha = \beta = \gamma = 90^\circ$		$P, F, I$	23 $\bar{4}3m,$ 432	$m\bar{3}$ $m\bar{3}m$

\*単斜晶系では対称の軸は1方向だけであり, これを  $b$  とするのが古くからの習慣であった. しかし最近ではこれを  $c$  ととることが国際的な規約として認められ, 現在では両者が用いられている.

\*\*軸の選び方によっては A, または B の面心が現れてくる.

\*\*\*元の表では斜方であったが, 訳語の変更により直方 (斜方) とする.


\*\*\*\*: 三方晶系の格子には, 菱面体格子 (R) と六方格子の両方がある.

(桜井 (1967) を改変)

削除

- 9頁, 2行目: これを,,, という. → これらは 3.3 で述べる7つの晶系 (crystal system) に分類される. ただし, 三方晶系には後述する菱面体格子  $R$  と六方格子  $P$  の両方がある.
- 14-15頁, 図 3.5 の立方の欄: 上から3番目の  $m3$  →  $m\bar{3}^*$ , 一番下の  $m3m$  →  $m\bar{3}m^*$   
図 3.5 の表題の説明: 最下行に以下の文を追加. 「\*点群の以前の省略記号  $m3$  及び  $m3m$  は, 最新の International Tables では, それぞれ  $m\bar{3}$  及び  $m\bar{3}m$  としている。」  
さらに引用元: (International ,,,, 1972) → (International ,,,, (1972) を改変)
- 16頁, 表 3.3 の正方晶系の3番目の方位:  $[100]$  →  $[110]$
- 18頁, 下から3行目: 三方格子 → 三方

6. 18 頁, 下から 2 行目: 「, , 菱面体格子 ( $R$ ) という。」のあとに以下の文を加える。「ここで三方晶系について, ひとつ触れたい。三方晶系は, 1 個の  $3$  または  $\bar{3}$  を持つ場合である。従って, 格子としてはこの菱面体格子がそれに相当するが, そのほか六方格子中に  $3$  または  $\bar{3}$  を持つ原子配列がある場合も, 三方晶系となる。従って三方晶系は, 菱面体格子( $R$ ) と六方格子( $P$ ) の両方を格子に持つ。」
7. 20 頁, 6 行目: **三方格子は** → 三方晶系の菱面体格子は
8. 20 頁, 8 行目: 図 35 の点群も → 図 35 の点群は
9. 20 頁, 16 行目: **上記の, , もの** → 4 個の  $3$  または  $\bar{3}$  をもつ。
10. 23 頁, 表 3.5 (b) の記号 a, b と c の欄の赤で囲んだ部分を以下のように訂正 (文字の一部汚れている)。

$a, b$	軸映進面	-----		$a/2, b/2, a_1/2$ と $a_2/2$
c		.....		$c/2$ ; 菱面体の軸では $(a+b+c)/2$

11. 28 頁, 9 行目: **Brag** → Bragg
12. 38 頁, 3 行目: **回折点の, , による.** → 回折点の強度分布の対称性による。ただし, 対称心の有無は, 別途判定する。
13. 39 頁, (4.12)式:  $\infty$  →  $\infty$
14. 41 頁, 下から 4 行目: 4.1 節で **べた** ように → 4.1 節で述べたように
15. 75 頁, 下から 4 行目:  $\text{CaMgSi}_2\text{O}_3$  →  $\text{CaMgSi}_2\text{O}_6$
16. 114 頁, 下から 6 行目: (KIMA equation) → (KJMA equation)
17. 117 頁, 下から 7 行目: (modyfied spinel) → (modified spinel)
18. 178 頁, B : **Brag** equation → Bragg equation